年度	2025	開講学期	通年	単位数	1	時間割コード	
授業科目名	森林管理実践実習 （公開森林実習）			担当教員	山本信次		
授業科目名:英語	Forest Management Practice						
主な対象学生	学部・大学院・他	学科	コース			学年	区分
	農学部					2,3,4	
科目の情報	科目の種類			ESDとの関連		他学部開講科目	
	いわて5大学単位互換科目		○	公開授業講座		高大連携科目	
履修上の条件				キーワード	演習林	公開森林実習	
他の担当教員	白旗 学，髙田乃倫予						
学位授与方針との関係							
授業の目的	森林・林業技術者に就業するためには，多様な森林生態系や森林管理，森林利用，自然環境・社会などについての幅広い基礎的な知識を身につけておくとともに，実際の森林作業体験などを通じて森林・林業の本質を実体験することが職業とのミスマッチを起こさないために重要である。このため，森林管理業務全般に関して，現場実務から研究に至るまで精通している,演習林森林系技術職員の指導によりインターンシップを体験する。						
到達目標	演習林における様々な森林管理体験を通じて，森林・林業技術者として就業するに際して，その職業の実際を知り，自己の適性との親和性を確認することを目標とする。						
授業の概要	全国大学演習林協議会により行われている単位互換協定による公開森林実習である。 第１日：冷温帯林業と高性能林業機械（ハーベスタ・フォワーダ等）操作（滝沢演習林） 第２日：収穫調査実務（御明神演習林） 第３日：植物相観察，野生動物管理実習，ツリークライミング®技術（御明神演習林） 第４日：高性能林業機械（ハーベスタ・フォワーダ等）による間伐作業（御明神演習林） 第５日：造林作業（下刈・蔓切），研修報告書の作成　（御明神演習林）						
授業の形式	岩手大学演習林において合宿形態（4泊5日）で行われる。授業形式は実習主体に行われる。						
授業外学習	冷温帯林における森林生態，森林管理，木材産業，山村社会等の特徴について，事前に学習しておくことが望ましい。						
成績評価の方法と基準	評価方法		割合	評価観点			
				関心・意欲	知識・理解	技術・表現	思考・判断
	授業への取り組み		80%	○		○	
	レポート(報告書)		20%		○	○	○
	評価基準						
	実習への取り組み（50点），レポート(50点)により60点以上を合格とする。秀（90点以上），優(80点～89点)，良(70～79点)，可(60～69点)，不可(60点未満)とする。再試は実施しない。						
履修における留意点	初日の集合場所は、岩手大学農学部（上田キャンパス）となる。日程の詳細は、別途資料が配布される。授業料は、無料であるが食費等の実費（10,000円）が必要である。この他，岩手大学までの交通費は自己負担である。						
教科書/教材							
参考書							